

淡江大學 107 學年度第 2 學期課程教學計畫表

課程名稱	品頭論足村上春樹(二)	授課 教師	落合由治 OCHIAI YUJI
	TALKING ABOUT MURAKAMIHARUKI (II)		
開課系級	日文二碩士班 A	開課 資料	選修 單學期 2學分
	TFJXM2A		
系 (所) 教育目標			
<p>本系碩士班之教育目標在於培育具備以下能力之日語人才：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 培養具備良好日語表達能力之人才。 2. 培養日本文學相關領域之研究人才。 3. 培養日本語學、日語教育相關領域之研究人才。 4. 培養日本文化相關領域之研究人才。 5. 培養具有國際觀及獨立思考之人才。 			
系 (所) 核心能力			
<ol style="list-style-type: none"> A. 具備高階日語語言能力 (含聽、說、讀、寫、譯)。 B. 具備深入理解日本文學之專業知識。 C. 具備深入理解日本語學、日語教育之專業知識。 D. 具備深入理解日本文化之專業知識。 E. 具備使用工具書蒐集資料、以及專業書面與口頭報告之能力。 F. 具備專業學術論文寫作之能力。 G. 具備專業翻譯就業之能力。 H. 具備獨立及創新思考之能力。 			
課程簡介	<ol style="list-style-type: none"> 1.了解目前流行文學批評理論、文化記號論等與文學作品讀解實踐於個案之沿用 2.研究日語文章結構、篇章語言學與言談語言學之方法。課程中亦將研究探究日語之篇章與談語結構及規則。 3.從媒體、文化、翻譯等世界文化論觀點來看、分析村上春樹作品。 4.每箇學生發表自己的研究觀點、討論、結束前必須繳交報告。 		
	<p>The main aim of this class is an introduction of method of research about Japanese Murakami Haruki literature's text structure from view point of discourse linguistics, media analysis, cultural study, criticism theory and so on. In the curriculum we will also study Japanese text with to discuss the language structure and the rule. Every student must express own research viewpoint, discussion, conclusion and write the report about MURAKAMI Haruki works.</p>		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	1.了解日語文章結構、篇章語言學與言談語言學之現況與研究方法。	1.This class focuses on learning the methods of researching in text structure, text linguistics and discourse study of Japanese.	C4	ACEF
2	2.自己了解日語文章結構及合乎邏輯之推論方法、規則。	2.Through this class, students will learn the basic abilities to study a text structure, including organizing, collecting and analyzing data, expressing critical thinking and drawing a conclusion.	P4	ACEF

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	1.了解日語文章結構、篇章語言學與言談語言學之現況與研究方法。	講述、討論、實作、整理data上台發表	實作、報告、上台發表
2	2.自己了解日語文章結構及合乎邏輯之推論方法、規則。	講述、討論、實作、整理data上台發表	實作、報告、上台發表

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◆ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◆ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◆ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◇ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◆ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◇ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◇ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◇ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	108/02/18~ 108/02/24	介紹分析村上春樹作品方法·介紹考察物語社會符號	
2	108/02/25~ 108/03/03	了解日本講師講演練習：「專題演講「日本政府の推進する新しい“移民”政策と日本語教育への影響」 ()	守謙國際會議中心HC107
3	108/03/04~ 108/03/10	介紹日常會話分析方法 (質的研究)	
4	108/03/11~ 108/03/17	介紹媒體分析方法、批評理論、文化理論研究法 (利用text mining)	
5	108/03/18~ 108/03/24	介紹廣告分析方法 (質的研究)	
6	108/03/25~ 108/03/31	介紹電影·動漫分析方法 (質的研究)	
7	108/04/01~ 108/04/07	教學觀摩日	
8	108/04/08~ 108/04/14	研討媒體表現分析 1 (學生發表與討論)	
9	108/04/15~ 108/04/21	研討媒體表現分析 2 (學生發表與討論)	
10	108/04/22~ 108/04/28	參加碩士論文構想發表·中間發表	
11	108/04/29~ 108/05/05	研討媒體表現分析 3 (學生發表與討論)	
12	108/05/06~ 108/05/12	研討媒體表現分析 4 (學生發表與討論)	

13	108/05/13~ 108/05/19	研討媒體表現分析5 (學生發表與討論)	
14	108/05/20~ 108/05/26	媒體表現分析論文読解1	
15	108/05/27~ 108/06/02	媒體表現分析論文読解2	
16	108/06/03~ 108/06/09	媒體表現分析論文読解3	
17	108/06/10~ 108/06/16	媒體表現分析論文読解4	
18	108/06/17~ 108/06/23	自由討論日 (討論期末報告内容)	
修課應 注意事項	<p>1.日本語力養成のために授業では日本語による質疑、討論、および研究発表(一人最低1回=平時評量30%)、期末のレポート作成(60%)を行います。</p> <p>2.村上春樹を始め、日本語のメディア素材を多面的に読解したり、あるいは、様々な研究法で分析することで、作品特徴を整理し、規則性や価値を見出すのが授業の目的です。これは日本文学、日本語学関係の修士論文を書く基礎力になります。</p> <p>3.受講者の人数によって発表回数を決めます。論文等を読む時間がないときは、知識の部分は示した資料により各自で図書館を利用して補強するようにしてください。</p> <p>4.学期の最初は、具体的な日本のメディア素材を分析資料にして、分析と討論をおこないます。</p> <p>5.決めたテキストについて、よく用いられる表現形式に注目しながら作品構成あるいは作品内での表現形式のはたらきについて考察します。また、批評理論、文学研究法、メディア研究法などの研究法を応用して、受講した学生の皆さんに自分の分析を発表してもらい、皆で討論します。</p> <p>6.先輩で2年生の構想発表時に研究計画書が十分に書けない例が目立ちます。こうした場合は修了できないので、1年生のうちにレポートの書式と計画書の書式を必ず教科書等で確認し、書けるように練習しておいてください。</p> <p>7.最近、先輩で「何をすればいいかわかりません、先生、答えを教えてください」という人が増えてきました。これでは修士論文は完成できません。自分で目標を決め、一定の方法で、対象を分析して答えを出すのが、修士の能力です。知識を思えることが基本の入試や学部の勉強よりも、大学院の勉強は質が一步あがります。以前の勉強法を捨てて新しい方法を見に付けるように練習してください。</p> <p>8.iclass及TronClassを利用します。</p>		
教學設備	電腦、投影機、其它(DVD放映機)		
教材課本	<p>曾秋桂・落合由治 (2010) 『我的第一堂日文專題寫作課』 瑞蘭國際 (レポートの書き方の手本)</p> <p>曾秋桂・落合由治 (2011) 『我的進階日文專題寫作課』 瑞蘭國際 (レポートの書き方の手本)</p>		
參考書籍	<p>泉子・K・メイナード (1997) 『談話分析の可能性』 くろしお出版</p> <p>橋内武 (1999) 『ディスコース』 くろしお出版</p> <p>泉子・K・メイナード (2004) 『談話言語学』 くろしお出版</p> <p>佐久間まゆみ編 (2003) 『朝倉日本語講座7 文章・談話』</p> <p>村上春樹関係、文学研究書</p> <p>廣野由美子 (2005) 『批評理論入門』 中公新書</p> <p>丹治愛編 (2003) 『批評理論』 講談社選書</p> <p>石田基弘 (2017) 『Rによるテキストマイニング入門』 森北出版</p> <p>秋田喜代美, 能智正博監修 (2007) 『はじめての質的研究法. 教育. 学習編』 東京図書</p>		

批改作業 篇數	2 篇 (本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫)
學期成績 計算方式	◆出席率： 10.0 % ◆平時評量：30.0 % ◆期中評量： % ◆期末評量： % ◆其他〈提出期末報告〉：60.0 %
備 考	「教學計畫表管理系統」網址： http://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處 首頁〈網址： http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php 〉業務連結「教師教學 計畫表上傳下載」進入。 ※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。